

常なる磐

つねなる いわ season II
令和 4 年 1 月 28 日(金)
その 3

◇ データで見る「岡崎市の新型コロナウイルス感染症」②

岡崎市の新型コロナ感染者数は、あっという間に 200 人台に突入。予想を上回る勢いだ。別の視点で数値を分析してみると、市が発表する「週別 PCR 検査人数」は下表に示すとおり。保健所は、罹患^{りかん}数を大幅に上回る対応にあたっている。

| 週別 検査人数 | | 一部抜粋 | | | 令和4年1月25日現在 | |
|-------------------|------|-------|-------|-------------|------------------|--|
| 週(月曜～日曜) | 衛研※1 | 保健所※2 | 計 | うち陽性患者数(新規) | | |
| 12月20日 ～ 12月26日 | | 17 | 17 | | | |
| 12月27日 ～ 令和4年1月2日 | | 92 | 92 | 1 | | |
| 1月3日 ～ 1月9日 | | 162 | 162 | 39 | | |
| 1月10日 ～ 1月16日 | | 892 | 892 | 113 | | |
| 1月17日 ～ 1月23日 | | 2,477 | 2,477 | 272 | | |
| 1月24日 ～ 1月25日 | | 579 | 579 | 65 | 24・25 日 2 日のみ | |

※12/20 から 1/25 までの陽性者数の合計は 1,486 人 検査合計は約 3 倍の 4,219 件

※数値は、保健所が実施した「PCR 検査」を受けた方が対象。他の自治体や医療機関等で行った検査人数は含んでいない。

R3.12.20 から R4.1.25 の間に保健所が行った PCR 検査数は計 4,219 件で、その内数の新規陽性者数が 490 人。同期間の岡崎市が発表した陽性者数の計は 1,486 人であり、割合からすると保健所関連が 33%。つまり、この割合から他の自治体や医療機関の検査人数を含んだ総数を逆算すると、岡崎市民で 1 か月ほどの間に 12,700 件にもおよぶ検査が行われている。これは全市民の 3%にあたる。東京都が公表した 10%には及ばないものの、少ないとは言えない数だ。しかもその大半が、ここ 2 週間に集中している。

オミクロン株の拡大が報じられるようになった 1 月から、保健所は感染状況の把握ならびに感染拡大防止、さらに子供たちを守ることを目的として、小中学生の濃厚接触者の指定を拡大し、学級単位での PCR 検査という特別措置で対応。これを従来方式に戻すとのことだ。このことから、業務が切迫^{うかが}している状況が窺い取れる。

さらに 25 日、大村愛知県知事から、PCR 検査に関わる新しい対応方針が以下のよう示された。

- ・これまで濃厚接触者全員に行っていたPCR検査を、今後は高齢者や基礎疾患のある人などへ限定的に行う。
- ・よりリスクの低い方は、陽性者又は連絡を受けた本人でリスク管理をする。
- ・保育施設や学校関係者に対しては抗原検査キットを配布し、自主的に検査するよう求める。

この指針に則り、市の新しい方向も決まってくる（現状から変更される）のは間違いない。これまで以上にアンテナを高くする必要があるだろう。

とはいえ、厳しい話題ばかりではない。

子供たちを守るニュース【5歳から11歳の子どもを対象にした新型コロナワクチン接種】を厚生労働省が特例承認した案件だ。

以下、既報道より抜粋。

- ・了承されたのは、米ファイザー製の5歳から11歳の子どもを対象にした新型コロナワクチン。
- ・国内でこれまでに承認されているワクチンは、12歳以上が対象で、11歳以下に使えるワクチンが承認されるのは初めて。
- ・このワクチンは、12歳以上の接種に使用されているものとは違い、有効成分量は3分の1。
- ・ファイザーによると、5歳から11歳対象の海外の臨床試験で、90.7%の有効性が確認された。
- ・新型コロナワクチンの接種対象は、現在、「12歳以上」だが、これで、「5歳以上」に拡大。
- ・厚労省は、専門家分科会を行い、公費で行う「臨時接種」に位置づける方針を決定。
- ・ワクチン接種の「努力義務」については、科学的な知見などを整理し、適用するかどうか検討する。
- ・来月(2月)の専門家会議で、最終的な諮問案が出され、正式に決まる見通し。
- ・正式に決定すれば、厚労省は5歳から11歳への接種を3月以降に開始する運び。

副作用について触れられていないことは心配だが、光あるニュースだ。なぜなら、市の報道発表によれば、今月に入って市内全小中学校 67 校（※小学校は47校・中学校は20校/市）のうち、臨時休校措置が取られた 9 校の全てが小学校、中学校は現時点で 1 校も休校がないことを考えれば、12～15歳のワクチン接種の有効性が見えてくる。

12歳から15歳のワクチン接種がそうであったように、おそらく今回の接種も任意となるであろう。この任意という部分が重要で、接種対象である12歳の6年生がワクチンを接種したかどうかについて、学校は把握していない。接種の有無を子供たちに問うこともしていない。個人情報を守る市内全小中学校、同一步調の対応である。

接種については3月以降となるとの情報だ。その他、市保健所や市教育委員会から学校が得た情報は文書やメール等でお伝えしていくので、ご家庭での対応をお願いしたい。